

イントロダクション

昨年度開催した
前回 WS の様子を共有

2025 Ver.

① 1人でも安心

② 222

③ 国際交流色2人!

④ 良場所ハバチケない

⑤ 本ライブラリーが
[きれい!]

これが
今回の WS の目的

① 現状を知りたい!

② 居場所の提案

③ 今あるスペースの活用を考える

これをもとに
今回の WS に
おける大まかな
方向性を示すことで、
参加する学生も
想像しやすくなる

有明C
学生の居場所

2026
7/15

3号館1階学生ホール

建築学生が
"社会"にします!

考える
ワークショップ

講義を受けるだけの「ハコ」ではなく
豊かな学生生活/活動を支える場へ!

[スケジュール]

前半 part.	後半 part.
1. 主催者説明	Gw1. 学生の居場所 図面にプロット
2. 学生WSの方向	Gw2. 4グループに分かれ ディスカッション+ドローイング
3. 事例紹介	

- 事例

 - 明治大和泉 C
 - 日本女子大
 - 芝浦大 9号館
 - 龍谷大学 etc

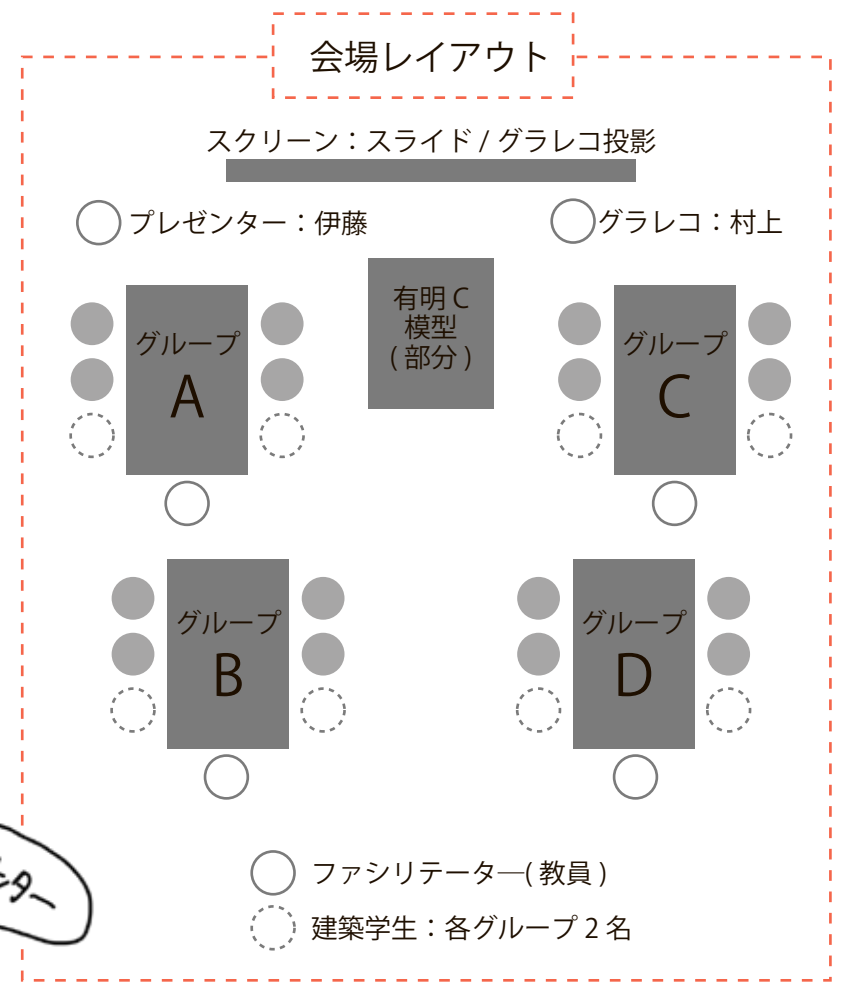
都内だけでなく
全国にたくさん
"学生の居場所"を
実現させている

海外

コミュニケーションを
とるための道具を
貸し出すサービス

||

空間と一緒に
どう提供するか



前半 part プレゼンター

工学部 建築デザイン学科
教授・伊藤先生

写真と簡易テキストのスライド
それぞれどんな目的で設けられたのか
どんなふうに使われているか説明

グループワーク①

GW① ふせんを使って、 図面にプロットしてみよう!

グループワークのデイスカッション



ワークシートも使っています!



ディスカッションを元に
ドローイング作成中!



① いっぱい全体を見渡してね!

グループ1

3号館1F } LUNCH
5号館1F }
2号館2号館
交流スペース①
空き時間をつくらない



グループ2

3号館1F } LUNCH
1号館 }
次の授業の教室 }
5号館1F 研究室で交流
他のどこに行かない
自分の学科だけ...



グループ3

食: ほぼない
外に食べに行く
交: ほぼない
憩: 5号館1F 風廊
あそび場からすぐ見える



グループ4

デ-サイエンス以外 }
次の授業の教室 } 特定の場所がない
自由に使える時間を使える
ない!

学生グラレコより

デジタルサイエンス学科
以外は学生の拠点がないため、
空き時間を過ごす場所がない。

周辺のコンビニへ行くにも
移動が大変なので、ご飯を
持参してキャンパスで食べる
習慣がない

そもそも居場所がないため、
どこで過ごしているのか
考えることすら苦勞していた印象。
結局、授業の教室で過ごしている
学生がほとんど。

食堂や図書館の座席数が
足りていない
人が多いから家に帰って
食べるか、TOC ビルのカフェ
まで歩いていく

100 円朝食 GOOD !
(混んでいないから)

落ち着いてゆっくりできる
場所はキャンパス内には
なく、どこにいても賑やか。

授業以外で同じ学科の
学生同士が交流することは
ほとんどない

友達と集合できる
場所がない

授業が同じ教室、同じ建物内で
汲まれることが多いので
休憩時間に移動することは
あまりない

「とあるグループでの一言」

空き時間をつくらないようにしてる

➡ 居場所がないから

有明はサ-ワ-ル活動がない

「別のグループでの一言」

図書室はしゃべれない
= 交流できない

交流できる場所が
あっても
その情報はどこに??

場所がないから
大学では食べない
スペースがあるけど食べるのも...

居場所がないことが
わかっているので、
空きコマを作らないように
時間割を組むようにしている

グラレコライブ投影



グループワーク②

GW② 有明の居場所を
建築学生が社会におこす！

- グループ1: 1-203
- グループ2: 1-203
- グループ3: 学生ホール/CLS/6号館1F
- グループ4: イングリッシュスペース/3号館スペース



なるべくたくさんの
アイデアがほしい!!

でも30分しかないから
建築学生ががんばるぞ!!

この4点にまとめよう!

- ★ 1人ずつアイデア
- ★ アラビア語に交わるアイデア
- ★ 生活空間
- ★ 学びの体験にどうつながるのか?

イトウT.

「なんだか
すべり出しが
静かな感じ...」

グループ
担当: くらやみ

樂先生の振り返り

国際交流スペースは、外から見ても何の場所か分かりにくく、入りづらいという意見があり、明確なサインや案内を設けるなど、初めての学生でも安心して入れる工夫が必要。アジアスペースは畳を敷いて土足禁止のリラックスできる空間を設け、時折イベントを開催するなどの提案ができた。



神吉先生の振り返り

できるだけ禁止事項の少ない場作りが必要。「飲食禁止」ではなく、飲食物がこぼれてもすぐに拭き取れる素材で場を作る、など。印象的だったのは、「会いに行かなくても会える」というキャッチコピー。授業が同じ学生以外とはほとんど会えない、授業が終わって連絡しても「もう帰った」とかそんなことばかり、だから会おうと思ったらわざわざ会うために連絡を取り合わないといけない。そうじゃない場ができたらいいいと思っているという話があり、興味深かった。

グループ①
リラックス
① 座
② 移動のしやすさ
③ 照明
④ 音

グループ②
① 座
② 移動のしやすさ
③ 照明
④ 音

グループ③
① 座
② 移動のしやすさ
③ 照明
④ 音

グループ④
① 座
② 移動のしやすさ
③ 照明
④ 音

ふき出しののせんと貼っていく
→ 会話が可視化される!

① 想

「会いに行かなくても会える場」

対象の空間はコ!

① 想

「会いに行かなくても会える場」

描いてる描いてる

実際の写真を見ながら
想像を言語化しています!

どこかに1人
いられるスペースが
必要なのかな?

ex. フィンランドの図書館

どなたか1人
いられるスペースが
必要なのかな?

建物同士の屋上を繋ぎたい!

6mピッチくらい...
4mくらいある...
寸法で考える

ロングステイ / ショートステイ



石橋先生の振り返り

学生の方が”制約があること”を前提に生活している状況なのだ痛感。食事場所も休憩や憩いの場もないため、空き教室探し回ったり、滞在せず帰宅するので交流も生まれにくい。廊下や部屋の隙間など、余った空間に家具を置くだけでも、ロングステイ・ショートステイに対応できる居場所づくりは可能なのではないか。

